

令和4年10月26日

環境森林部 自然環境課 自然環境係(内線 2872)

農政部 技術支援課 生産環境室 植物防疫係(内線 3038)

クビアカツヤカミキリの被害状況について

県では、平成29年度から県内におけるクビアカツヤカミキリの被害状況調査を実施しています。今年度の被害状況は、被害本数7,596本で昨年度から687本増加しました。増加率は1.1倍と昨年度に比べて小さくなったものの、新たに藤岡市、上野村、玉村町で被害が確認され、被害発生地域は15市町村となりました。

1 調査概要

- (1) 調査内容 : 市町村及び県で把握している被害状況(フラス[幼虫のフンと木くずが混ざったもの]が出ている被害木及び成虫の確認)
- (2) 調査期間 : 令和4年4月1日～令和4年8月31日



2 被害の傾向

- ・ 複数の市町において、被害本数の増加が抑えられており、薬剤注入を中心とした予防・防除対策に一定の効果があったと考えられる。
- ・ 県中西部地域では、依然として散発的な新規被害が確認されている。また、新規被害の発生は、これまでの発生地点付近で確認されている。
- ・ 果樹等の生産園地については、果樹以外に切り花のハナモモの被害が明らかとなった。

3 今後の対策

- (1) 被害発生地域の拡大防止
予防対策経費の補助により薬剤注入対策に取り組む市町村を引き続き支援するとともに、「ぐんまクビアカネット」など住民の協力を得て行う早期発見・早期駆除の取組を強化して、被害発生地域の拡大防止につなげる。
- (2) 発生地域における被害の低減
薬剤注入による防除を中心に、成虫の捕殺等の対策も組み合わせて実施して、成虫の生息密度の低減を図っていく。
- (3) 農業被害の抑制
防除対策を徹底するため、薬剤費等の対策経費を支援するとともに、より効果的かつ効率的な防除技術の確立に向けた実証試験に取り組んでいく。

<市町村別・樹種別被害状況>

No.	市町村	被害本数	被害樹種					参考：過去の被害本数				
			サクラ	ウメ	モモ	スモモ	その他	H29	H30	R1	R2	R3
1	前橋市	76	-	-	45	1	30	-	-	-	-	4
2	高崎市	25	9	4	3	9	-	-	-	-	5	41
3	桐生市	263	178	81	2	-	2	-	-	-	28	38
4	伊勢崎市	110	77	24	8	1	-	-	-	-	17	12
5	太田市	2,820	2,098	563	120	32	7	5	164	388	1,231	2,335
6	館林市	1,531	1,315	131	7	62	16	219	496	1,272	1,323	1,758
7	藤岡市	6	-	-	5	1	-	-	-	-	-	-
8	みどり市	54	4	-	43	6	1	-	-	-	6	20
9	上野村	8	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
10	玉村町	12	8	1	3	-	-	-	-	-	-	-
11	板倉町	778	760	12	-	-	6	4	33	168	248	576
12	明和町	291	255	-	30	6	-	123	311	434	476	387
13	千代田町	426	419	6	1	-	-	47	120	202	382	375
14	大泉町	777	756	17	-	-	4	105	194	658	765	864
15	邑楽町	419	396	11	7	1	4	179	192	439	479	499
15市町村合計 (うち果樹園等)		7,596 (904)	6,275 (0)	850 (552)	274 (235)	127 (89)	70 (28)	682 (117)	1,510 (394)	3,561 (381)	4,960 (729)	6,909 (788)

(注1) 被害樹種のうち「その他」は、ハナモモ、アンズ等
(注2) 果樹園等は、果樹及び花き類枝物の生産園を示す

